

登美ヶ丘北中学校区

めざす子ども像

気づく、学ぶ、考える子どもを育てる

▶登美ヶ丘北中学校区 地域教育協議会

地域・子どもの現状	地域の子供たちの多くは、家庭環境に恵まれ教育に対しても関心が高い子弟が多く、他地域より中高一貫校への進学傾向があり勉学への意識が強く、高学年になるほど教育環境の二極化する傾向がうかがえる。そのような教育環境の中で共同活動に関しては、希薄になる傾向があり、縦の組織が形成され難しくなっている。
伸ばしたい子どもの具体的な力	メインテーマに沿った子供たちを育てるには、「気づく」は普段より相手方の状況の把握と理解に努める。「学ぶ」では色々なことに関心を持ち、不明なことには自分自身で考え調べることが大事であり、その結果が身につくことを自覚する「考える子供」。前項の更なる向上のため、いろんな角度から考えを見直し、バランスの良い人格形成を目標に学校と地域が連携を密にして向上を目指す。
取組内容	子供たちの興味関心のある活動に適切な指導者、講師を配置し人生の生涯学習に役立つ取組ができるように協議会としてバックアップに努める。学校での活動や取組が困難な要件に対しては学校側からの要望及び協働活動により補完関係として機能できるようにつとめる。サマースクール・とみきた塾・ひつじの放牧活動を継続しより充実した内容にする。



▶登美ヶ丘北中学校 運営委員会

学校園・子どもの現状	校内事業への積極的参加を呼びかけ地域に於いても学校の取組が深まりだしたことも事実であり、生徒たちは地域の方に自分たちの取組を見てもらうことを楽しみにしている。 また、学校力向上・キャリア教育推進事業として地域の方を招いて開催している文化的・体育的行事には、特に力を入れており生徒たち自身の頑張りを知ってもらおう絶好の場として捉えている。
伸ばしたい子どもの具体的な力	自分の取組でやるべきこと積極的に考え、行動し、自分の意見に責任をもっている人たちに伝えていく力。
取組内容	地域人材を積極的に活用し、地域の大人が学校の子どもにかかわる「コミュニケーション」「つながり」などを意識した学びの場を多く設ける。そのことで子どもが地域の思いを感じ取れるようにし、学校生活から将来に向けて生かせるようにしていきたい。



▶登美ヶ丘小学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>校区近隣では「防犯パトロール隊」を組織して活発に活動されている。分散進学となる校区としての難しさがあり、地域全体で一律の活動は実施できない。子どもたちは明るく人懐っこい。いろいろな取組に対して前向きで意欲的である。また、学校活動にPTAやOBの方々が積極的に協力してくださっているので、多くの支援を得ることができる。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>地域で子どもを育てる 子どもで地域がつながる「地域やなかまと共に育む登美っ子」 自分のやるべきことを見つけ行動し、自分の考えを持ち、思いやりのある心を持ちながら相手と協働できる力。</p>
<p>取組内容</p>	<p>各事業を進めていく中で、地域と学校と子どもが共にかかわり、「体験」「ふれあい」「楽しさ」「つながり」などを意識した学びの場と機会を設け、本校のよさや地域のよさ、そこに暮らしている人たちの思いを感じ取れるようにし、自分たちの日々の学校生活に生かせるようにしていきたい。</p>



▶東登美ヶ丘小学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>静かな住宅地に育ち、公園や恵まれた自然環境の中で、児童はのびのびと遊びや様々な活動に取り組んでいる。しかし、低学年から塾や習い事に通う児童が多く、高学年になるにつれて中学受験の準備等、時間に追われる忙しい日々を過ごしている児童も少なくない。そのため、知識量は多いが、その知識を活用していく力や、友だちと協働する力には物足りなさを感じる。また、学習面や体力面においても二極化が課題となっている。加えて、コロナ禍において、異学年や教員以外の大人と接する機会が激減している。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>知識だけでは得られない様々な体験の素晴らしさを味わうことにより、新たな体験に取り組む意欲を持たせ、学習面や体力面の二極化の解消も図っていきたい。また、新型コロナウイルス感染予防に努めながら、人と人との触れ合いの中で、友だちとのコミュニケーション力や協働する力をしっかり身につけさせたい。</p>
<p>取組内容</p>	<p>地域の教育力を生かして、「体験活動」や「読書活動」を中心に据えた学習計画の充実を図る。また、恵まれた自然環境を生かし、子どもたちが安心・安全に生活できるように「環境整備活動」に取り組むとともに、体力向上につながる学習の場を数多く設定していきたい。</p>



▶登美ヶ丘幼稚園 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児は明るく素直であるが、家庭での経験の差が大きく、身の回りのことを自分でやる力や人と関わる力を身につけていく必要がある。 ・令和4年度をもって閉園になる為、今年度は5歳児1クラスになるが、感染症対策を徹底しながら、地域の方との交流を通して充実した遊びや多様な経験を積み重ねていきたい。
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>○基本的な生活習慣を身につけ、自分の力で生活しようとする意欲。 ○社会生活に必要なルールやマナーを知り、守ろうとする態度。 ○友達や保育者、地域の方との信頼関係の中で、自分の気持ちを調整したり、相手の思いに気づいたりしながら人と関わる楽しさを感じる力。</p>
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・知的好奇心を育む（自然とのふれあい・栽培活動・感動体験） ・自分で選ぶ ・考える（五感で感じる・試行錯誤を重ねる・見通しをもつ） ・体力づくり ・やる気づくり（生活習慣の確立・体を動かす・食への関心） ・自信と自尊心を育む（信頼関係・成功体験・少し難しいことに挑戦する経験） ・共感できる仲間と共に（自分の思いを伝え相手の思いを受け入れる）



▶東登美ヶ丘こども園 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>こども園になり5年目を迎え、地域外から登園する子どもも徐々に増えてきている。子どもは、素直で明るい、核家族も多く、人とのかかわりが希薄であったり個々の生活経験の差があったりする。また、自分の思いを表現することが苦手な幼児も多い。園で様々な活動（事業）をする中で、自分を表現する楽しさや、様々な人とのかかわりなどを通して心動かす感動体験を積み重ねていきたい。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>様々な「人・もの・こと」との出会いを体験する中で、表現したり新しい事柄に気づき、試したり、工夫したりしながら、やりたいことに対して粘り強く取り組もうとする力を育てる。</p>
<p>取組内容</p>	<p>地域の教育力を活かして、心に響く感動体験を計画的につくり、取組を充実させる。また、「楽しさ」や「つながり」などを感じられるような経験や人とのふれあいがいっぱいある楽しい園づくりをしていく。</p>

